

浸水実績図

平成18年～令和5年

このマップには、平成18年～令和5年にかけて本市が確認した、下水道計画区域（雨水）内の内水氾濫による浸水発生箇所を「浸水実績」として掲載しています。よく使う道路や避難路を確認し、降雨の状況によっては通らないようにするなど、日頃からの備えに活用してください。

【発行】熊本市 都市建設局 土木部 河川課 雨水対策室
TEL:096-328-2571 〒860-8601熊本市中央区手取本町1番1号（令和6年作成）

このマップについて

- このマップに示す浸水範囲は、本市に寄せられた情報をもとに、確認・整理した情報を示したものです。実際には浸水実績図と異なる箇所でも浸水が発生している可能性があります。また、水路、下水道（雨水）の整備や土地利用形態の変化などにより、浸水実績図と異なる範囲で浸水が発生している可能性があります。
- このマップは下水道計画区域（雨水）を対象としており、下水道計画区域（雨水）外の浸水実績については記載していません。
- このマップは、内水氾濫による浸水発生箇所を浸水実績として示しており、河川の氾濫は考慮していません。河川の氾濫による浸水想定区域を確認する場合は、熊本市ハザードマップ（洪水）をご参照ください。
- 指定緊急避難場所については、熊本市地域防災計画に記載している避難所（洪水）を記載しています。

- ### 施設等凡例
- 1 指定緊急避難場所
 - 医療機関
 - 消防
 - 警察
 - 区役所
 - アンダーパス
 - 新幹線
 - JR
 - 高速道路
 - 国道
 - 主要道路
 - 市境
 - 行政区界
 - 下水道計画区域（雨水）

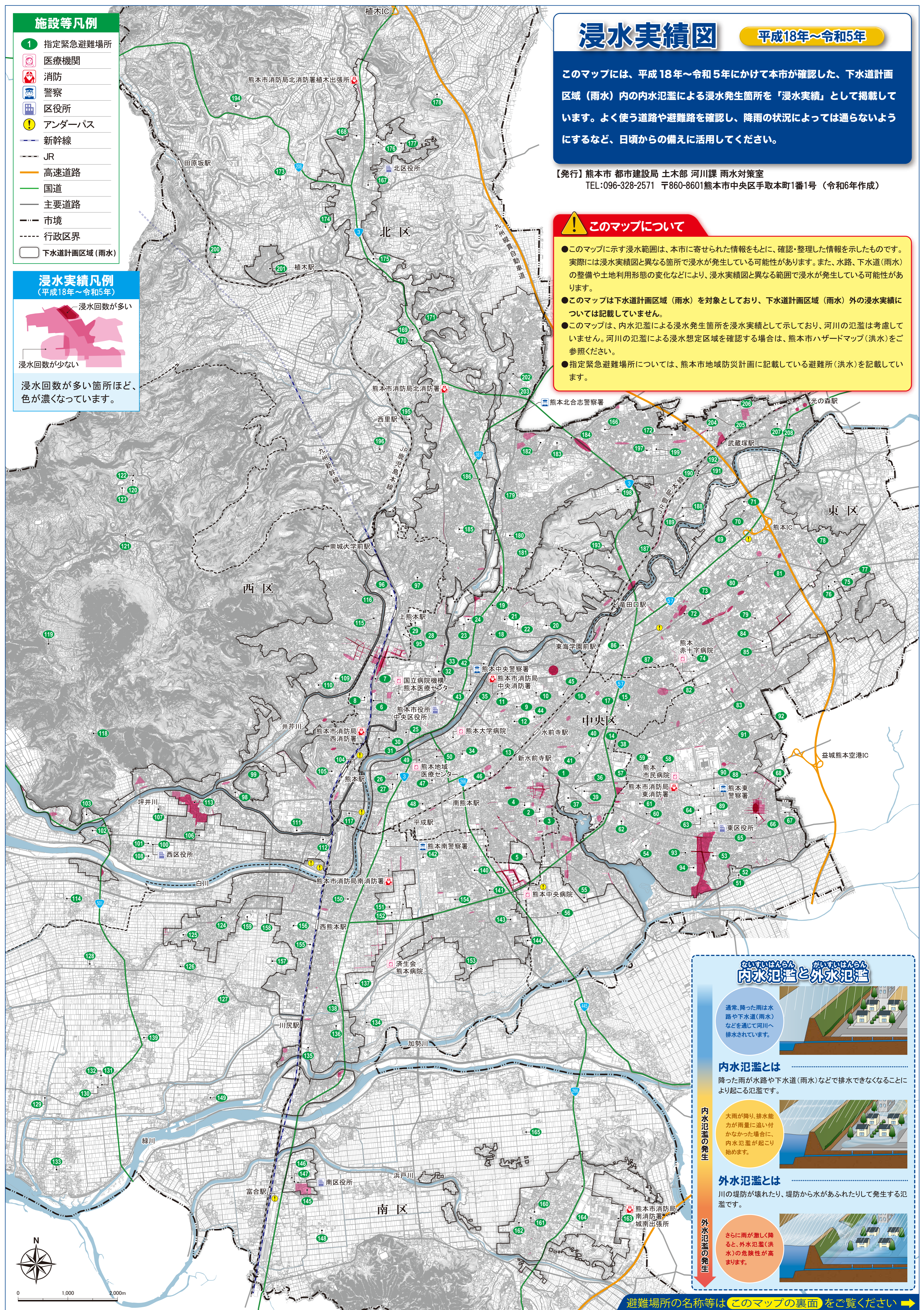
浸水実績凡例

（平成18年～令和5年）

浸水回数が多い

浸水回数が少ない

浸水回数が多箇所ほど、色が濃くなっています。



内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫とは

通常、降った雨は水路や下水道（雨水）などを通じて河川へ排水されています。

降った雨が水路や下水道（雨水）などで排水できなくなるにより起こる氾濫です。

大雨が降り、排水能力が雨量に追い付かなかった場合に、内水氾濫が起り始めます。

外水氾濫とは

川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれたりして発生する氾濫です。

さらに雨が激しく降ると、外水氾濫（洪水）の危険性が高まります。

内水氾濫の発生

外水氾濫の発生

避難場所の名称等は **このマップの裏面** をご覧ください